

シルバー 安全だより

第23号

平成14年8月1日

(社)日向市シルバー人材センター
安全管理委員会

～～ 健康で基本に忠実であれ ～～



安全管理委員長
井上 繁

「健康とは心身ともに元気であること、健康で安全就業に取り組んでもらいたいものです。毎年7月は安全就業推進月間です。永年培ってきた技能知識を生かし、精励してきたが、これは体力、気力共に充実していた時のことであり、現在は永年の経験が現役当時とは格段の差があることを再確認し、永年の経験が過失とならないよう心掛けてもらいたいものです。事故防止策として、毎日の自己管理（体調）、就業場所の適確なる確認、パートナーとの連携（気配り）、他人に迷惑をかけない（心掛け）等が大切と思います。

これから暑い夏に向かいます。作業も大変です。就業途上交通事故は勿論のこと、就業中は自分の身は自分で守る以外ないと思います。だから作業中は暑くとも作業帽をかぶり、保護眼鏡、安全帯、作業に適した服装等、基本を身につけることを義務付け、違反して就業し事故が生じた場合、以後の作業は辞退と云うことも考えざるを得ません。「自身を守る」ためです。

「緑十字の安全旗 今日も明日も安全就業」を肝に銘じ、「事故0を目指し」前進あるのみです。暑さに向かいます会員の皆様のご健闘と御多幸を祈念いたします。

会員の皆様はじめまして!



理事長
高橋彰一郎

先日のセンター総会の新聞記事は、平成元年設立以来厳しい経済環境の中で安くて、丁寧な仕事で最高の事業実績を上げている事が出ていました。又、別の統計資料で国民総医療費が31兆円（一人平均64万円/年）かかっている。その中でシルバー人材センター会員は、22万円/年しか使っていない事が出ていました。元気で働くことで病院に行くヒマもない…といえるかもしれません。しかしこの数字は、今迄先輩方が経験を生かし、細かな気配りとねばり強さ、丁寧（怪我を起こさないぞ）といったテーマをもって、取り組んでこられたたまものであると信じています。

会員の皆さん、これからも『自分を守ってもらうことが仲間を守っていること』と、『自分が健康で楽しく働くことが、国や市の財政を助けていること』に自信をもって胸を張って仕事に取り組みましょう。

新任委員の紹介



鶴田君子委員

初めてのことで不安もありますが、就業の経験を生かしてがんばります。よろしくお願ひします。

6/7 安全・適正就業対策会議(宮崎市)出席して

—— 事故は起きるものではなく起すもの —— 藤田辰巳副委員長

平成14年度第1回安全適正就業対策会議が6月7日、ホテルプラザ宮崎で開催されました。日向市より兵頭次長と私、県内各センターから50数名の参加がありました。

～ 全シ協安全適正就業推進指導者養成研修の伝達 ～

① 安全衛生対策の推進方法について

国富町センターの末吉さんより9項目について発表がありました。
同じ事故を起こさない、心のふれあい(会員同志でパトロール)など。

② 安全、適正就業対策の意識と活動拠点の役割

当センターの兵頭次長より各10項目について発表がありました。
安全の確認。誰が安全確認をするのか、それは就業の当事者である会員自身であること等々。
更に、平成3年10月、当センターに安全管理委員会が設置されてからの安全対策決定事項、活動計画の発表がありました。

国富町センターでは、家族承諾及び誓約書を提出し、家族と共に事故防止に努め、就業先及びセンターにご迷惑をかけませんと、末吉さんの発表にありました。

次に、県連合の森山指導員より年間パトロールの経過報告がありました。安全保護具の着用徹底、就業途上の交通事故防止。事故を未然に防止することが常に求められています。それは決して難しいことではないと銘記して下さい。県連合の大野さんより、13年度事故概況について、最近では自転車、バイク利用者の交通事故が増加しているとの報告がありました。加齢と共に体力も集中力も低下してきますので、自転車、バイク、車は一旦停車し、安全運転に努め、又身体を守る安全保護具は積極的に着用し、自衛就業に徹し事故は絶対起こさないという強い決意と実行のもとに会員としての有意義な人生を全うしていただきたいとのことです。

顧みるに平成13年度事故発生状況報告による事故者数は、県内センターで就業中89名、就業途上26名と、115名の会員さんが事故にあっておられます。

事故は起きるものではなく、事故は起すものです。
『安全就業』この4文字をモットーに事故防止に努めましょう。

安全標語
川柳

募集中

切 8/30まで

安全パトロール^{春季}5/21・^{夏季}7/26 実施

【チェックポイント】

- ① 熱中症に注意しよう(水分補給)
- ② 市道での除草は多めの看板設置を
- ③ 車進行方向に前向きに作業するように



7/12 安全就業推進大会(宮崎市)

柳田悦子 委員

場所は、宮崎県立芸術劇場演劇ホール。日向市シルバー人材センターからは25名が参加しました。

宮崎保健所所長の「ストレスと

のつきあいかた」の講演があり、何でも積極的、チャレンジ精神がある、家にひきこもらない、趣味をもつこと、うつ病にならないこと等話しておられました。西都、小林、宮崎市のシルバー人材センター会員の体験発表がありましたが、どこのセンターでも事故の起きる原因は同じです。事故防止には、自分の体調に心掛ける、怠慢にならない、協力、気配り、就業現場での安全声かけ運動の励行、安全パトロールの実施等。日向市センターでも安全対策には、これ以上に取り組んでいます。無事故を目指して頑張りましょう。

平成14年度の全国統一スローガン『安全はシルバーみんなの合言葉』です。